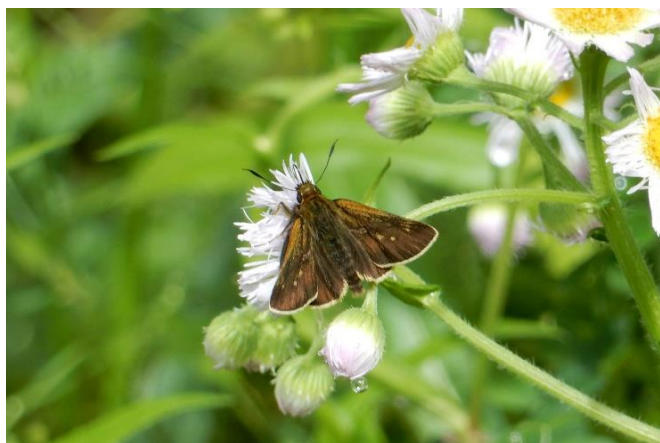


和名	分類	特徴ほか	会える場所							
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他				
コチャバネセセリ	セセリチョウ科	茶色っぽくやや小型	○	○	○	全国				
成虫発生時期 (月)										
1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態				
ササほか (イネ科)				2~4		幼虫				



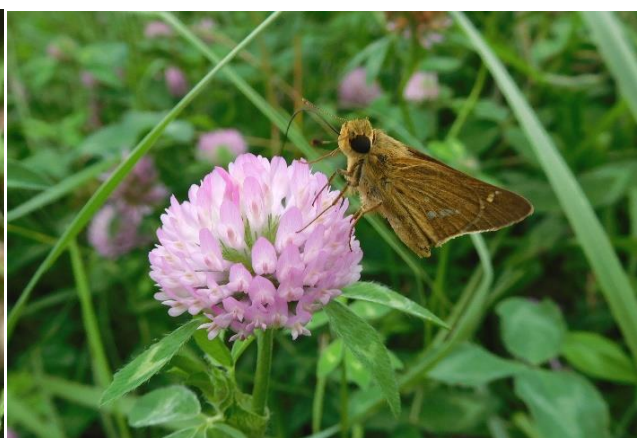
生田緑地 5月初旬 ハルジオンで吸蜜



生田緑地 4月中旬 レンゲで吸蜜 (Photo HENK)



生田緑地 4月下旬 ハルジオンで吸蜜 (Photo HENK)



イチモンジセセリ 多摩川土手 中野島 7月中旬
アカツメクサで吸蜜 後羽の銀紋が一直線なのが特徴

早春の蝶の一つミヤマセセリに続いて、モンシロチョウやアゲハチョウたちが出てくるころになるとイチモンジセセリ、コチャバネセセリ、また多摩川土手ではギンイチモンジセセリも登場します。

セセリチョウの仲間は殆どが飛ぶのが速く花にとまっているときくらいにしか観察できませんが羽が似ているのでなかなか種類の判別が困難なことがあります。

本種もまぎらわしいセセリです。ただ、この付近にいてまぎらわしいのは、イチモンジセセリくらいで、表の羽の色調（本種は茶色ががかる）と、イチモンジセセリの後裏羽は名前の通り銀紋が一直線に並ぶことで区別できます。